

2022年度 大東文化大学青桐会 全国各支部からの質問・要望

大学からの回答

【就職関連】	P. 96～
【教務関連】	P. 98～
【教職関連】	P.100～
【学生生活関連】	P.102～
【施設設備関連】	P.103～
【スポーツ関連】	P.104～
【留学関連】	P.105～
【広報関連】	P.106～
【その他】	P.107～

※2022年7月から8月にかけての青桐会全国支部総会で会員様より
いただいた大学への質問・要望に対する回答をいただきました。

【就職関連】

1. 看護学科の就職先は埼玉県が多いと思いますが、地元での就職希望も可能でしょうか。

【回答】 大学に届く看護学科学生向け求人は、大学の所在地の関係もあり関東近県（特に埼玉／東京）に所在している病院等から送られてくることが多いですが、大学に求人票が届いている、いないに関わらず、採用試験は応募条件を満たす限り学生本人の希望で応募（受験）ができます。

大学に届く求人以外の求人情報の収集方法や、Uターン就職を希望する際の情報収集の方法などについては、ガイダンス等を通じてお伝えしています。

地元での就職を考える場合は、看護師国家試験の勉強時間の確保、採用試験の時期、移動時間及び回数等の兼ね合いからスケジュール管理がとても重要となります。

2. インターンシップ参加で単位取得が可能な授業が人気と聞いていますが、詳細を教えてくださいませんか。

また、インターンシップ参加学生の学年制限はあるのでしょうか。

【回答】

【1】 本学における『インターンシッププロジェクト（※教育的効果の高い正課としてのインターンシップの展開）』についてご説明します。

- ・事業名称を「インターンシップを通じた社会人基礎力醸成プロジェクト」として、2020・2021年度の2年連続で全学プロジェクト事業に採択されました。
- ・この2年間は1学部（国際関係学部）でモデルプログラムを確立し、2022年度からは全学共通科目の「キャリアデザイン」で全学部へ展開し、大学全体としてのキャリア教育力の向上を推進しています。

■2022年度受講者数：3年生約100名（※厳正なる事前抽選があります）

- ・第5回「学生が選ぶインターンシップアワード(※)」で『文部科学大臣賞』の栄誉に輝く(※) 学生の社会的・職業的自立に貢献したインターンシッププログラムを表彰する日本最大級のアワード

544法人・645プログラムの過去最多応募があった中、2021年度に全学プロジェクトとして実施した本学のインターンシッププロジェクトが、優秀賞に加え、『文部科学大臣賞』の栄誉に輝きました。この勢いを、今後も加速させてまいります。

【インターンシップアワードに関するページ】

<https://internship-award.jp/>

その他、一部の学部学科にも単位取得が可能なインターンシップ関連授業

(例：2022年度政治学インターンシップ／テーマ探究／福島被災地研修)があります。

【2】 民間企業・団体等が募集しているインターンシップには、学年制限を設けないプログラムも一部あります。

3. 就職活動の web 面接を利用する企業が増えていますが、大学内での設備は利用可能でしょうか。

【回答】 3年生、4年生向けに、選考受験時に利用できる事前予約制の個室を両キャンパスに設置しています。※2022年度末まで利用可能です。

4. 大学内の資格取得講座の種類を教えてくださいませんか。講座開始時間は大学授業と重ならないでしょうか。

【回答】 国家資格として人気のある宅地建物取引士や IT パスポートのほか、TOEIC、日商簿記（2級・3級）、国内旅行業務取扱管理者、公務員試験対策など、全 13 種類の資格取得講座を開講しています。

比較的開講授業が少ない 5 時限目を開講していますが、授業ややむを得ない理由で受講できない学生のためにオンデマンド配信に対応、定期試験や大学行事にも配慮した日程を組んでいます。

2022 年度は大原学園と協同し、学生が無理なく合格を目指せるカリキュラムが特徴です。

【ダブルスクール講座に関するページ】

<https://www.daito.ac.jp/career/wschooll.html>

【教務関連】

5. 今年度、抽選で外れ受けられなかった授業がありました。抽選漏れの学生はごくわずかだったようですが、学生の学ぶ意欲を大切にするため授業枠を増やしたり、大きな教室に変更する等の対応を行って頂けなくて非常に残念です。コロナ禍で学びたいものが学べない状況の中、何とか解決策はないでしょうか。

【回答】 コロナ禍での対面形式での授業実施につきましては、学生および教員の健康と安全に配慮して、可能な限り多くの学生が受講できるように、関係各所と調整しながら行なっております。しかしながら、教室数に限りがあることや授業における教育効果の観点から、教室変更ができかねる場合もございます。

なお、受講人数を制限する科目については、抽選を実施しており、年度当初の各学科ガイダンスで抽選の手順などの詳細を説明しています。特に、全学部・全学科の学生が履修することができる「全学共通科目」については、初回授業で抽選が行われる可能性が十分にありますので、抽選に漏れた場合の第2希望・第3希望を考えておくこと、次年度以降の履修登録を検討すること等について、注意喚起しております。

6. 臨床検査技師と食品衛生管理者等の資格を同時取得できると理解して入学しましたが、授業で臨床検査技師資格関連の必修と、食品衛生管理者等の選択科目が同じコマに設定されており、事実上あきらめざるを得ない状況でした。見直し、また解決策はないでしょうか。

【回答】 今年度については時間割の都合上、臨床検査技師の資格科目と食品衛生の資格科目が重複してしまいました。

食品衛生に係る資格科目は2年次に開講されますが、3年次・4年次でも履修が可能です。現在次年度の時間割配置の検討を進めており、頂戴したご意見を踏まえまして、なるべく両資格に係る科目を履修できるよう検討いたします。

7. 対面授業が急遽オンラインに変更になることがあります。また、ある科目の教員（専任）について特に休講が多いようで、その分の補講がきちんと行われていないようです。改善をお願い出来ませんでしょうか。

【回答】 2022年度より教員の健康上の理由などの一部の例外を除いて授業は対面で実施しておりますが、再度、教員の自己都合にて授業方法を変更することのないよう周知徹底を図ってまいります。

なお、休講時の補講につきましては、課題やレポートを提出させるなどの措置を講じて対応することがございます。

8. コロナ禍でスポーツ実習がほとんど論文やレポート提出に変わったことが残念でした。その分も含め、今後はどのような対応になるのでしょうか。

【回答】 スポーツ科学科としては、野外実習の担当教員一同、対面で実施する準備を進めておりましたが、大学としての新型コロナウイルスへの対応方針や実習受け入れ施設の感染症に対応する受け入れ体制が整わない状況もあり、学生の安全面を考慮すると対面での野外実習の実施を断念せざるを得ませんでした。大学としてオンライン授業が主となった状況の中で、担当教員一同、最大限単位認定ができるように授業を運営させていただきましたが、対面で受講できなかった学生については、すでに単位の認定をしており、単位を取得した学生については、同じ実習を再度履修できないこととなっております。

現在は、大学の方針として対面授業を基本として授業を実施し、スポーツ科学科としても野外実習を対面で実施することを再開しておりますが、今後の感染状況によっては、学生の安全面を考慮して授業形態が変動する事も想定されます。単位取得した野外実習について、技術面等で心配なところがある場合は、各実習担当教員にご相談ください。

【教職関連】

9. 教職での就職状況について教えて頂けないでしょうか。

【回答】本学全体の教員就職者数は、2020年3月卒を境に、教員免許状取得者数に比例し減少しているものの、本学内における教員採用率はむしろ上昇しております。

このことは昨今の教員不足の反映かもしれません。

本学の教育実習生は例年全学で300名以上おります。就職先の都道府県としては、埼玉県志望者がここ数年、他自治体を大きく引離して最も多く、教員就職者数の約4割を占めております。

経年変化や教科別等の詳細は以下の表をご覧ください。

1. 本学全体の教員就職者数

*非常勤には臨時採用を含む。

	2018年3月卒	2019年3月卒	2020年3月卒	2021年3月卒	2022年3月卒
常勤	48名	51名	67名	52名	51名
非常勤	95名	79名	97名	92名	71名
計(A)	143名	130名	164名	144名	122名

2. 教員免許状取得者数

	2018年3月卒	2019年3月卒	2020年3月卒	2021年3月卒	2022年3月卒
実数(B)	381名	346名	397名	336名	286名

3. 本学内における教員就職率 = (A) / (B)

	2018年3月卒	2019年3月卒	2020年3月卒	2021年3月卒	2022年3月卒
採用率	37.53%	37.57%	41.30%	42.85%	42.65%

4. 教科別教員採用者数(2022年3月卒)

【常勤】

※幼稚園には認定こども園を、中学校は中等教育学校を含む。

幼稚園	小学校	中学校					高等学校								計
		国語	社会	保体	英語	その他	国語	地歴	公民	書道	保体	英語	その他	特別支援	
6名	21名	5名			5名	1名	4名	4名		3名		1名		1名	51名

【非常勤】

*臨時採用を含む。

幼稚園	小学校	中学校					高等学校								計
		国語	社会	保体	英語	その他	国語	地歴	公民	書道	保体	英語	その他	特別支援	
	31名	9名	5名	2名	6名	2名	2名	1名		5名		2名		6名	71名

なお、本センターでは、教員採用支援にかかる独自の取組みとして、板橋・東松山の両キャンパスに「教職セミナー」を設置しております。これは、学部・学科の垣根を超えて、同じく教員を目指す仲間が集まった勉強サークルのようなもので、自学自習の場として、専用のセミナー室を年中利用することができます。

教職セミナーでは、教職専門指導員（教育現場に長年携わった元教員）や各学科の教職担当教員による模擬授業の練習、個人や集団面接の練習、論作文の指導などが行われます。しかし、学外の塾や予備校のように、教員採用試験のためのテクニック（のみ）を教える場ではありません。学生に必要な情報や資料を提供しつつ、学校現場の様子や採用試験の傾向と対策などについて、適宜アドバイスを行います。

塾や予備校でこれらの指導を受けた場合は高額な受講費用がかかりますが、教職セミナーは無料というのも大きな魅力かと思えます。教員採用試験で合格をしている学生は、3・4年次に継続して教職セミナーに参加している学生が多く、例年実施している分析結果でも優位性を示しております。

10. 教育実習を3年生で行うのは難しいのでしょうか。

【回答】教育実習は4年次配当科目として文部科学省に届出を行っており、そのうえで教職課程設置が認可されております。また、教育実習に臨むにあたり、その前提として教育実習の前年度までに単位取得が必要な科目があります。中には3年次の終了まで授業が行われる科目があるため、3年次生は教育実習ができないことになっています。

【学生生活関連】

11. 校内の売店・食堂に関して「食堂が混雑していることが多く座席数を増やして欲しい」、「売店や食堂の内容を充実して欲しい」、「板橋校舎にデイリーヤマザキに加えてコンビニエンスストアを入れて欲しい」との意見が多く、改善策・検討中の事案があればお伺い出来れば幸いです。

【回答】 食堂は、コロナ禍で座席数を減らして営業（6人掛けを4人、4人掛けを2人）していますので、2時限目終了直後は混雑しています。しかし、20分ほどで列も少なくなりスムーズに利用可能となりますので、少し時間をずらしてご利用ください。

板橋校舎へのコンビニエンスストアの誘致につきましては、近隣に5軒ほど営業しておりますので、そちらをご利用ください。夏休みや春休み期間には学生がいないことから、学内への誘致が難しい状況です。

板橋校舎では、2022年度後期授業終了後に中央棟1階食堂の改装を予定しています。2023年度には、装い新たに営業を開始いたします。

12. コロナ禍で人との繋がりが少ない中、新入生は不安だったと思います。地方出身の学生が情報交換出来る県人会のような集まれる場をご検討頂けないでしょうか。

【回答】 ご意見として承りました。学生自治会にも申し伝えます。なお、情報交換の場となり得る既存のものとしましては、生協学生委員会（学生自治会公認サークル）による入学準備説明会や[お友達企画]、各部活動・サークルによる新入生歓迎会などがあります。また、各学科に入門ゼミ（「基礎演習」など、学科によって科目名称は異なります）がありますが、そちらもその一助になると思われれます。

13. 自然災害に関して、大雨や学校付近が無事である等、DBポータルでお知らせ頂く仕組みや、線状降水帯による豪雨の発生など大学側から指示・連絡を入れて頂く仕組みをお願い出来ませんかでしょうか。

【回答】 もし大学が被災した場合は、大学ホームページやDBポータル等でその状況をお知らせすることになります。自然災害に関しては、気象庁や市区町村などのホームページ、防災アプリなどもご活用ください。なお、本学では、「緊急時対応の手引 防災対応マニュアル」を毎年度作成し、全学生に配布しています（名刺大の印刷物、財布などに入れて常時携帯を推奨）。また、「気象警報等の発表時や交通機関の運休時等における授業の休講、及び定期試験の延期措置等に関する基準について」（https://www.daito.ac.jp/campuslife/class_exam/canceled/）を2021年5月に更新しました。大きな地震（震度5弱以上）や災害救助法の適用があったときは、その地域在住（出身）の学生にDBポータルで安否確認を行ない、学生災害見舞金制度も整えています。

【施設設備関連】

14. 健康科学科は定期試験の期間がずれており、久喜便の設定がない日がかかなり多いようで、通学に支障をきたしている学生がいるそうです。全学科のカリキュラムにあわせてスクールバスの設定をお願い出来ませんかでしょうか。また、事前申込み制による大学内、近隣駐車場を無料で使用することもご検討頂けないでしょうか？有料の場合の価格設定もお伺い出来れば幸いです。

【回答】 定期試験期間の久喜便の運行につきましては、スポーツ・健康科学部事務室に事前に相談したうえで決めておりますので、現在はカリキュラムに合わせた運行を実施しております。

なお、本学では、学生の自家用車での通学は認めておりません。近隣駐車場の利用は、学生個人で駐車場貸主との契約となります。

以下に大学付近の駐車場を運営している会社を記載しますので、ご希望の方は直接お問い合わせください。

株式会社国際学生協会 TEL 0493-34-4317

※契約した駐車場で起きた事故につきましては本学では一切責任を負いませんので、ご了承ください。

15. 大学校内での販売に際してキャッシュレス決済(PayPay など)の導入希望が多いようです。現在、また今後の展望をお伺い出来れば幸いです。

【回答】 学内の食堂や売店、自動販売機でのキャッシュレス決済サービスにつきましては、種類は違いますがほとんどの店舗や自動販売機で導入しております。

一方でキャッシュレス決済サービスは導入費用や利用手数料など各テナントの負担となります。テナント各社さまざまな事情があるため、本学では決められないことをご理解ください。

16. 本年度の青桐会全国校舎見学会に参加した際、東松山キャンパスで洋式トイレが少ないと思いました。学生生活調査アンケートなどで調べて頂く、または改築の予定などありましたらお伺い出来ますでしょうか。

【回答】 東松山キャンパスの記念講堂と第二厚生棟以外の建物は、すべて洋式トイレに改修しております。洋式にできていないところにつきましても今後順次改修を進めてまいります。

【スポーツ関連】

17. 学内で表彰されるスポーツ賞の選考基準があれば教えてくださいませんか。

【回答】スポーツの表彰として、桐門スポーツ賞があります。この賞はスポーツ振興センターで定めた「大東文化大学桐門スポーツ選考基準」に則り、選考しています。

18. 運動部の寮の食事について、これまで改善頂いておりますが、今年度もラグビー部と野球部より食事がおいしくないとの声があがりました。食事は、体づくりに必要なものですが、同時に楽しみでもあります。おいしい食事の提供について、材料、調理法、雇用、費用など、どこに問題があるのか今一度見直して頂けないでしょうか。

【回答】合宿所（寮）における食事はなかなか難しい問題かと思われまます。全国各地から入部してきた部員が一つの屋根の下で生活し、味や好みなど個人的な問題も有するため、味付けやメニューなどに指導者も頭を悩ましていると思われまます。現状、食事提供業者の選定についてはクラブに一任していますが、改めてスポーツ振興センターとして問題の所在について確認するように各クラブに伝えさせて頂きまます。クラブによっては、新しい食事提供業者に変更し部員から好評を得ているところもあります。

【留学関連】

19. コロナ禍で諸問題があると思いますが、なるべく多くの留学方法の創出をお願い出来ませんかでしょうか。またケースバイケースでの確かな情報の開示、並びに大学の国際交流センター、ホームページなどで分かり易く公開して頂けると助かります。

【回答】渡航制限の緩和により、現在は短期留学、長期留学ともに留学を再開しております。また、渡航型プログラムの他にオンラインでの留学プログラムもご案内しております。定期的に留学説明会を実施しておりますが、留学を希望する学生にしっかりと情報が届くよう国際交流センターから情報発信してまいります。

20. コロナ下での学校を通した留学先が少ない中、独自留学の際の単位取得、費用に関してご配慮頂けないのでしょうか。

【回答】私費留学での単位認定を認めている学部・学科もございます。また、留学のための外部奨学金もご案内しております。留学についての個別相談を実施しておりますので、国際交流センター事務室（板橋・東松山）までお問合せくださいますようお願い申し上げます。

【広報関連】

21. 以前、福岡でオープンキャンパスが開催され盛況でした。再度開催をお願い出来ませんかでしょうか。

【回答】現在、福岡地区をはじめ九州各地への広報活動は、入学センター職員が直接出向く高校訪問や高校生対象の進学説明会・各種イベント参加を行っております。イベントの実施には費用対効果が問われます。過去の生徒動員数など総合的に判断したうえで今後とも最適な広報計画を検討してまいりたいと思います。

22. 学生の少ない支部には、高校に大学の資料等を送付して頂くなど、大学の紹介をお願い出来ませんかでしょうか。

【回答】現在、全国各地への広報活動は、志願者が一定数いる高校への資料直接送付及び入学センター職員が直接出向く高校訪問、高校生対象の進学説明会・各種イベント参加を行っております。行き届かない部分につきましては支部に資料送付することも行いたいと考えておりますので、お手数ですが送付希望部数などお知らせいただきながら進めたいと思います。

23. 来年大学100周年なので、大規模な広告宣伝が必要なのではないのでしょうか。例えば、プロ野球の球場でTVに映る場所にスポンサー広告を出すなどご検討頂ければ幸いです。

【回答】現在、広報活動は、全国の受験生が直接目にするスマートフォン・webでのターゲット別広告を中心に据え、一定の成果を得ております。加えて、媒体では全国各地のバス停設置大型広告「シティースケープ」・地方テレビ局でのCM放送、対面では入学センター職員が直接出向く高校訪問や高校生対象の進学説明会・各種イベント参加を行っております。広告宣伝の実施には費用対効果が問われます。総合的に判断したうえで今後とも最適な広報計画を検討・実施してまいりたいと思います。なお、100周年にかかる広報計画は100周年記念事業推進室で計画しております。

【その他】

24. 入学してから1年間、コロナでフルリモートでした。入学式もなく、ガイダンスやオリエンテーションもなく手探りで全てをこなしてきました。大学としても手探りの中、学生のためにご尽力頂いていたと思いますが、課題の多さや締切りがいくつも重なってしまったり、友だちも出来ず相談もままならないまま苦勞していた学生たちへのケアが心配でなりません。学生たちの心のケア、生活相談について、どのようなことを実施しておられますでしょうか？

【回答】 診療所・保健室では、2020年度以降、web健康調査を毎年度実施し、気がかりなことを記入した学生には、看護師から電話をしてお話を伺っています。また、常時健康相談に対応しています。

学生相談室では、2020年6月からZoom相談にも対応し、対面相談は同年10月から再開しています。また、入構制限があった場合などは、ホームページでの情報発信の頻度を上げ（多いときは週1のペース）、オンライングループワークを試行しました。

2021年5月には「授業など困りごとホットライン」（学生支援センター所長が直接対応）を開設し、同年10月にはホットラインが主体となり学生に対して「オンデマンド授業における諸要素の学生満足度に与える影響」についてweb調査を実施しました。当調査の集計・分析結果は、学部長会議や教授会、DBポータルを通じて教員・学生に報告しました。2022年3月には（ホットラインに相談するほどではないような）学生の意見を吸い上げる仕組みとして、Google Formsを用いた「授業についての自由コメントシート」の開設を学生支援センターから教員に提案しました。

悩みごとや困りごとがあるときは、板橋・東松山の両キャンパスにある学生相談室をお気軽にご利用ください (<https://www.daito.ac.jp/campuslife/help/counseling/>)。カウンセラー（臨床心理士）が対応します。どこに相談したら良いか分からないときでも、まずは学生相談室にご相談いただければと思います。必要に応じて、担当窓口をご案内し、教員や学校医（心療内科・精神科）との相談の橋渡しもしています。ご相談は、対面、電話、オンライン、メール、手紙のいずれでも受け付けています。保護者の方もご利用できます。お気軽に学生相談室をご利用いただきたいと思います。カウンセラーに相談するのはどうも敷居が高いなどと感じるようであれば、各学科に入門ゼミ（「基礎演習」など、学科によって科目名称は異なります）がありますので、まずはその担当教員や、所属の学部事務室、学生支援課などにご相談されてもよろしいかと思えます。心のエネルギーが枯渇しがちになったりすることは誰にでもあり得ることですから、学生支援センターでは「何かで悩んだり困ったりした時は、一人だけで抱え込まず積極的に誰かにヘルプを求める」ことを呼びかけています。必要なときに上手に人に頼れる力を持つことが、学生時代に限らず今後生きてゆくうえでとても大切だと思われま

25. 教育活動や留学・就職関連についての情報を学生が今より取得しやすくなる方法はありませんでしょうか。

【回答】教育活動、留学、就職関連についての情報は各担当部署より DB ポータルを通じて学生へ配信しております。その他、学生生活に必要な情報についても DB ポータルを確認することにより把握できるようになっております。また、各事務室にて掲示等もおこなっております。現在は DB ポータルを主に情報発信しておりますが、より学生にとって利用しやすい環境、方法を今後も検討してまいります。

26. 大学の授業に使用するパソコン購入について、もし、国・大学から補助を受けられる支援手続きがあれば教えて頂けないでしょうか。

【回答】現在国が直接学生の皆様のパソコン購入経費を助成する制度はございません。
(市町村レベルでは助成制度の事例があります。)

なお、パソコン購入にも充当できる各種奨学金制度（給付型奨学金及び貸与型奨学金）等の利用が可能なケースもございますので、コロナ禍による家計急変など様々なお事情で修学支援が必要になった場合は、学生支援センター事務室にお問い合わせください。

27. 「1年間フルリモートであったにも関わらず、施設費を徴収されたのは納得できません」や「コロナ禍で使用出来ずにいた期間の施設利用料を返却して欲しい」との意見が多く、未だに理解が得られておりません。コロナ禍における学費に関する考え方について、保護者の皆様への説明が再度必要ではないでしょうか。

【回答】施設設備費は教育充実費の中に含まれますが、これは当該年度のみに充当するものでなく、在学する全期間を通じて教育・学修環境を整え、学生に十分な学修を積んでいただくために必要な経費となります。施設だけを切り取ると、学生が構内にいるいないに関わらず、建物の維持経費は常に必要であり、また、オンライン講義への対応のために設置した（している）各種機器類の費用等が掛かっております。

前提として、大学は教育研究活動を継続的に運営していく責務があり、中長期的な計画の下、施設設備の維持や修繕改修が行われており、そのために教育充実費が必要となりますことをご理解いただきたくお願い申し上げます。

28. 「保護者のためのガイドブック」p. 115 及び p. 116 の学内の電話・FAX 以外にメールアドレスの追加をお願い出来ませんかでしょうか。

【回答】次年度よりメールアドレスを追加するよう学内で調整いたします。

29. 沖縄県からの入学者に対する特別支援をご検討頂けないでしょうか（沖縄割のような学費特別補助など）。

【回答】ご意見として承りました。なお、本学では、沖縄県をはじめとする全国 23 会場で一般選抜（全学部統一 前期）入試を実施し、受験生の交通宿泊費等の負担軽減に配慮しています。

30. コロナに罹患した際の状況や支援が分かり難かったようです。コロナ感染症に関して学生たちへ、どのようなフォローがあったのか教えて頂けないでしょうか。

【回答】大学ホームページのトップページの「新型コロナウイルス感染症への対応」内で「学校感染症にかかった、体調不良を自覚した、濃厚接触者になった等の場合の連絡について」と題してご案内（随時更新）していますので、ご確認ください。コロナ罹患・濃厚接触者には、看護師が電話やメールで対応しています。また、大学ホームページや DB ポータル、掲示板等で感染症関連情報を随時発信しています。2022 年 10 月には、体育連合会（運動部）の主将主務会議において、看護師が学生に感染症対策をあらためて直接説明しました。市区町村の保健所とも連携し、医療逼迫時は大学施設で PCR 検査を実施したこともあります。なお、コロナ禍以降の主な経済的支援は次の通りです。（No. 24 もご覧ください。）

（2020 年度）

- ・大東学生特別支援金：全学生一律 5 万円、総額 5 億円超
- ・パソコン、ポケット Wi-Fi の貸与：希望者
- ・寄付金原資の修学継続支援事業：20 万円、50 名、総額 1 千万円
- ・国の緊急給付金：10 万円（住民税非課税世帯は 20 万円）、1,802 名、総額 2 億 240 万円
- ・JASSO のコロナ対策助成事業：3 万円、37 名、総額 111 万円
- ・学費の特別延納措置
- ・前期にコールセンターを設置
（国の高等教育の修学支援新制度開始）

（2021 年度）

- ・寄付金原資の修学継続支援事業：20 万円、29 名、総額 580 万円
- ・国の緊急給付金：10 万円、1,819 名、総額 1 億 8,190 万円
- ・特別修学支援金（家計急変、50 万円）：採用人数増枠（20 名→30 名以内）の規則改正
- ・教育ローン利子補給金（5 万円以内、80 名以内）：留年者も申請できるように規則改正
- ・寄付募集目的をスポーツ系だけでなく文化系にも拡大（課外活動支援）
- ・学費の特別延納措置

(2022 年度)

- 寄付金原資の修学継続支援事業を実施予定
- 学費の特別延納措置（実施中）

以上

電話・FAX・E-mailによる諸案内

①教務・学部事務室関係

問い合わせ内容	対象学部・研究科	担当事務室	連絡先
履修登録 追試験受験願 ゼミナール受講申込 各種証明書 転学部・転学科願	1・2年生に関する年間行事・授業・定期試験及び履修に関すること。 成績、在学証明書・単位成績証明書・卒業見込証明書・卒業証明書・その他証明書の発行など。	文学部 経済学部 経営学部 外国語学部 法学部 社会学部	東松山教務 事務室 TEL.0493-31-1511 FAX.0493-31-1512 mkyoumu@staff.daito.ac.jp
	3・4年生に関する年間行事・授業・定期試験及び履修に関すること。 成績、在学証明書・単位成績証明書・卒業見込証明書・卒業証明書・その他証明書の発行など。	文学部 文学研究科	文学部 事務室 TEL.03-5399-7324 FAX.03-5399-7357 文学部<bun@jm.daito.ac.jp> 文学研究科<bunken@jm.daito.ac.jp>
	研究科(大学院)の各専攻に関する年間行事・授業及び履修に関すること。 大学院に関する証明書の発行など。	経済学部 経済学研究科	経済学部 事務室 TEL.03-5399-7326 FAX.03-5399-7342 econ@jm.daito.ac.jp
		経営学部 経営学研究科	経営学部 事務室 TEL.03-5399-7462 FAX.03-5399-7342 keiei_jimu@staff.daito.ac.jp
		外国語学部 外国語学研究科	外国語学部 事務室 TEL.03-5399-7329 FAX.03-5399-7381 soudan_gaikokugo@jm.daito.ac.jp
		法学部 法学研究科	法学部 事務室 TEL.03-5399-7338 FAX.03-5399-7342 hougaku-kyouyuu@jm.daito.ac.jp
		社会学部 (環境創造学部)	社会学部 事務室 TEL.03-5399-7356 FAX.03-5399-7357 shakaikankyuu@ic.daito.ac.jp
	1～4年生に関する年間行事・授業・定期試験及び履修に関すること。 成績、在学証明書・単位成績証明書・卒業見込証明書・卒業証明書・その他証明書の発行など。	国際関係学部 アジア地域 研究科	国際関係学部 事務室 TEL.0493-31-1513 FAX.0493-31-1512 kokusai1986@jm.daito.ac.jp
研究科(大学院)の各専攻に関する年間行事・授業及び履修に関すること。 大学院に関する証明書の発行など。	スポーツ・ 健康科学部 スポーツ・ 健康科学研究科	スポーツ・ 健康科学部 事務室 TEL.0493-31-1552 FAX.0493-31-1512 spoken@jm.daito.ac.jp	

②教職課程センター事務室関係

教職、司書・司書教諭、社会教育士(養成課程)並びに学芸員に関する相談 (履修、資格取得、キャリアデザイン等) 教職セミナー(教員採用試験対策等)の運営 各種証明書(見込を含む)、修了証書の発行 教員採用試験に関すること	東松山校舎	TEL.0493-31-1537 FAX.0493-31-1553 kyoushoku@ic.daito.ac.jp
	板橋校舎	TEL.03-5399-7320 FAX.03-5399-7383 kyoushoku@ic.daito.ac.jp

③国際交流センター事務室関係

海外留学の相談 短期語学研修の相談 TOEFL・TOEIC受験相談	東松山校舎	TEL.0493-31-1536 FAX.0493-31-1535 dbuinter@jm.daito.ac.jp
	板橋校舎	TEL.03-5399-7323 FAX.03-5399-7823 dbuinter@jm.daito.ac.jp

④学生支援センター事務室関係

問い合わせ内容	担当事務室		連絡先
各種届出:住所、携帯番号、保証人、氏名等の変更届 各種願出:休学、退学、復学、再入学、学費延納 証明書発行:学生証、通学証明書、健康診断証明書(自動発行機)、 旅客運賃割引証(自動発行機) 奨学金申請:特別修学支援金、災害見舞金、日本学生支援機構貸 与奨学金、高等教育の修学支援新制度、地方・財団 等奨学金 落とし物:落とし物の受付・保管	学生支援 センター 事務室	東松山校舎	TEL.0493-31-1509 FAX.0493-31-1538 infogakusei@jm.daito.ac.jp
		板橋校舎	TEL.03-5399-7317 FAX.03-5399-7807 infogakusei@jm.daito.ac.jp
学生生活サポート、カウンセリング	学 生 相談室	東松山校舎	TEL.0493-31-1639 higashimatsuyama-gakuso- yoyaku@staff.daito.ac.jp
		板橋校舎	TEL.03-5399-7398 itabashi-gakuso-yoyaku@staff.daito.ac.jp
安全互助会の申請 ケガ・病気等の応急処置、健康管理、衛生管理	診療所 ・ 保健室	東松山校舎	TEL.0493-31-1510 infogakusei@jm.daito.ac.jp
		板橋校舎	TEL.03-5399-7318 infogakusei@jm.daito.ac.jp
学生教育研究災害傷害保険(学研災)及び学研災付帯賠償責任保 険(付帯賠償)の保険請求受付 学生寮・アパートの紹介	(株)大東 スクラム ※	東松山校舎	TEL.0493-81-6200 FAX.0493-81-6201 info@daito-scrum.co.jp
		板橋校舎	TEL.03-5399-7851 FAX.03-5399-7852 info@daito-scrum.co.jp

※学園100%出資事業会社

⑤キャリアセンター事務室関係

進路・就職個別相談(学部生・院生・留学生・障がい者・既卒生) 就職ガイダンス・講座・説明会(就職支援・Uターン・インターンシップなど) 公務員試験ガイダンス及び対策講座 学内就職セミナー・学内企業説明会・求人紹介 ダブルスクールに関すること	東松山校舎	TEL.0493-31-1507 FAX.0493-31-1618 syusyoku@jm.daito.ac.jp
	板橋校舎	TEL.03-5399-7321 FAX.03-5399-7322 syusyoku@jm.daito.ac.jp

⑥スポーツ振興センター事務室関係

運動部の活動に関する相談 体育施設に関する相談 スポーツ科学系副専攻に関すること	東松山校舎	TEL.0493-31-1508 FAX.0493-31-1623 直接電話でお問合せください。
	板橋校舎	TEL.03-5399-7349 FAX.03-5399-7612 直接電話でお問合せください。

⑦入学センター事務室関係

入試広報、ホームページに関すること 大学の入試に関すること 大学院の入試に関すること	板橋校舎	TEL.03-5399-7800 FAX.03-5399-7801 nyushi@ic.daito.ac.jp
--	------	---

⑧地域連携センター事務室関係

生涯学習のための公開講座(オープンカレッジ) 地域との交流窓口 大東文化会館施設利用予約	東松山校舎	TEL.0493-31-1534 FAX.0493-31-1563 chiiki@jm.daito.ac.jp
	板橋校舎	TEL.03-5399-7399 FAX.03-5399-7857 chiiki@jm.daito.ac.jp